



道徳だより

令和3年11月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



一年で一番長い2学期も、残り1ヶ月となりました。持久走大会や生活科見学、社会科見学などの行事も終わり、まとめの時期になりました。

さて、11月の「道徳だより」は、1年生の「おふろばそうじ」です。「がんばるころ」とは何かについて考えました。

<1年生の授業より>

「おふろばそうじ」

内容項目 ★希望と勇気、努力と強い意志★

●お話の内容●

あきらのお風呂場掃除に家族は大喜び。「寒いと大変よ。」とお姉さんが言いますが、あきは家族のためにお風呂場掃除を欠かさずやると決めました。そんなあきらの姿を通して、自分の決めたことをやり抜く強い意志について考えるお話です。

授業を終えた子供たちの意見から

『あきらが、「ぼく、やるもん。」と大きな声で言ったのはなぜでしょう。』という問いに対してのみんなの感想です。

- ・これからもぼくがお風呂場掃除をして、みんなを喜ばせるぞ！という気持ちになったから。
- ・お風呂場掃除を頑張ると自分も気持ちがいいから。
- ・家族にもっとほめてほしいから。
- ・みんなの心が温かくなると気付いたから。
- ・寒くなっても自分の仕事だから頑張ろうと思った。
- ・お風呂掃除が楽しいから。
- ・家族のために頑張りたいから。
- ・だれかがやらないと、汚くなってしまうから。
- ・これまでも頑張ってきたから、これからも頑張りたい。

自分の生活の中には、やらなければいけないことが多くあると思います。大変なことや面倒に感じることもたくさんあります。その中でも、自分のやるべき仕事を最後までがんばる心が大切です。ぜひ、御家庭でも、「がんばる心」ということについて話し合ってみてください。

学校生活の中で、どんな場面でがんばる心が大切になるのかを考えました。

- ・持久走大会で1位を取るために、毎日コツコツ走る。
- ・計算を速く・正確にできるようになるために、諦めずに何度も計算練習をする。
- ・掃除当番の仕事をしっかりとする。
- ・宿題を毎日丁寧に取り組む。